

「選挙に行きたいか」「将来結婚したいか／子どもがほしいか」2024→2025 高校生の変化 4人に3人が「選挙に行きたい」と回答、結婚・子どもを持つことへの意向もやや増加傾向

2025年7月と2026年2月の10代の投票率は、約4割程度と全体の投票率と比べて低いことが指摘されています。(文部科学省令和8年7月15日「社会・地理歴史・公民ワーキンググループデータ集」参考資料P8参照)

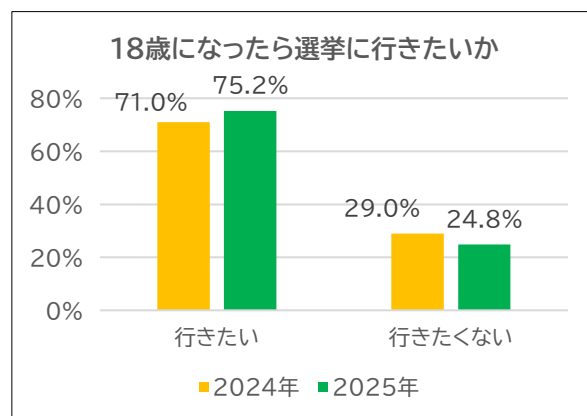
いま、高校生たちは、政治参加や将来の生活について、どのような希望を持っているのでしょうか。

白書シリーズでは、2024年と2025年に連続して高校生に対して、「18歳になったら選挙に行きたいか」「将来結婚したいか」「将来子どもがほしいか」をたずねるアンケートを実施し、各600人から回答を得ました。

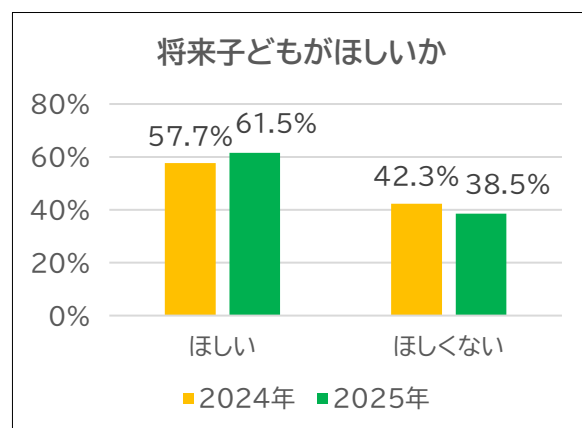
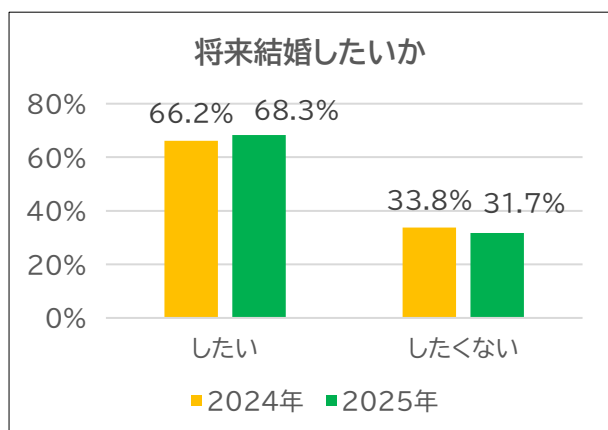
選挙への参加意欲は上昇傾向、高校生の75%以上が選挙に行きたいと回答、実際の投票率と差

「18歳になったら選挙に行きたい」は、71.0%から75.2%と4.2ポイント増加しています。高校生の4人に3人が選挙に行きたいと回答しており、政治参加への意欲が比較的高まっていると読めます。

なお、実際に18歳になったときの投票率は2025年の参議院議員通常選挙で49.38%(総務省「第27回参議院議員通常選挙 年齢別投票者数調査(抽出調査)」)に留まっています。政治参加への意欲は高まっている一方で、実際の投票行動との間にはギャップがあるようです。



「将来結婚したい／子どもがほしい」とともに6割以上に。「結婚」と「子どもの希望」の差がやや縮小



「将来結婚したいか／子どもがほしいか」という設問では、「結婚したい」が約3人に2人、「子どもがほしい」は、約6割となり、どちらも微増ながら、上昇傾向にあります。「将来結婚したい」という回答は66.2%から68.3%と2.1ポイント増加し、「将来子どもがほしい」という回答は、57.7%から61.5%と3.8ポイント増加で、「結婚」と「子どもの希望」の差が縮まっている点が注目されます。

また結婚はしたくても、子どもがほしいとは思わない層も一定数存在することもうかがわれます。

Web版では、「将来結婚したいか／子どもがほしいか」の回答理由も一部を掲載しています。

詳しくは下記のデータをごらんください。

「18歳になったら選挙に行きたいか」 高校生白書 [2024年／2025年](#)

「将来結婚したいか／子どもがほしいか」 高校生白書 [2024年／2025年](#)